

町田通勤寮だより

NO 73
2019年 3月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

巻頭言

寮長 三階 広明

いよいよ年度末です。新年度へ向けての準備と今年度のまとめの時期となりました。今年度の事業計画を改めて見直しながら、「あれができていない。これもできていない。」と反省をすることばかりです。

見直しのための一つの『ツール』が「第三者評価」です。受審結果を日常業務にどう活かしていくのかが問われています。結果を真摯に受け止めて、業務の改善に向けて努力していきたいと思えます。

話は変わりますが、世の中は「天皇の代わり」改元」と「東京2020オリンピック・パラリンピック」の話題で持ちきりです。(ラグビーワールドカップが今年開催されますが・・・日本ではまだまだマイナーですね。)

「平成最後の〇〇」の言葉が町の中に溢れ、なんとなく急かされているような気になるのは私だけでしょうか。

少し前に報道された国及び地方公共団体の「障害者雇用」の問題は憤慨に堪

えませんが、その後の対応についてもなんら実効的な改善がなされていないことに、個人的には失望しています。特に知的障害を持つ人に対する「合理的配慮」は微塵も感じることができません。「公平性」を理由としていることも納得できることはありません。公平性を確保するための「合理的配慮」は、ずであるからです。

あれから8回目の3・11がやってきます。3月が近づくこと『復興』をテーマに様々な情報がメディアから流れてきます。現実をしっかりと見つめて、自分の課題として受け止めて、これからの毎日を過ごしていきたいと思えます。

今年度を振り返って

主任支援員 武智 里峰

昨年3月、支援学校を卒業された方々を新規で迎え入れたと思ったら、一年が経過します。4月のオリエンテーション、BBQが最初の講座・行事になります。アツと言う間に一年が経過しようとしています。

利用者がこの通勤寮(宿泊型自立訓練施設)を利用できるのは二年。その後は単身生活かGHに移行します。この短い二年間に、社会性と一人で生きていく力を身に付けていかななくてはなりません。その為に、全体的な所では、各種講座(教養・保健・性・就労等)・行事・健康診断等。個人においては、個別支援プログラムを作成し、個人にあった目標・課題設定を挙げ、ステップアップに繋げ自立に向けた準備をしてきました。(常に継続中)

また、地域移行支援(主に単身生活を送っている方)においては、自分ですっかりと生活している方、チョット金銭面で課題が出てきた方…等、こちらも様々ですが、本人と連絡を取り合いながら、安定した地域生活が送れるよう支援しております。

通勤寮も、地域支援も相手は生身の人間。山あり、谷あり、本当に人それぞれではありますが、安定した就労と就労の継続、そして安定した地域生活の継続を目指し、日々、取り組み、これからも支援して行きたいと考えております。振り返る暇がない時期ですが、一息ついて、振り返るのも必要なんだと感じた今日この頃でした。

新年会・成人を祝う会

支援員 新井 政暁

1月20日、通勤寮の食堂にて新年会及び成人を祝う会が開催されました。今年度は利用者さん、保護者や各関係機関の皆様、職員あわせて三十八名の参加となり、賑やかで和気藹々とした雰囲気の中、新成人となった男性三名、女性一名の利用者さんを皆でお祝いしました。十二時半、スーツ姿の利用者さんが揃い、会は始まりました。つるかわ学園早川理事長、三階寮長の挨拶の後、自治会会長である利用者さんの乾杯の音頭があり、豪華なメニューの会食へと会は進んでいきました。十三時からの成人を祝う会では、新成人の利用者さんがそれぞれ、いつになく凛々しい表情で、二十歳を迎えての抱負などを述べておられました。法人内グループホームを管轄する事業所、フクシアの市川センター長や、就労支援を行う事業所、りんくの藤本センター長のお祝いの言葉、ビンゴ大会などを経て、会は盛況のままお開きとなりました。

改めて、新成人の皆さん、成人おめでとうございます。成人したからと言って、それまでの日々と比べ、日常的な変化があるわけではないと思います。たとえ五十歳になっても、今と同じように、嵐のような日々があったかと思えば、それを乗り越えた先には、穏やかな日々が待っていたりするかと思えます。生きていけば日々、色々なことがあったり、なかったりします。それでも、成人というのはひとつの大きな節目です。社会的に、大人としての責任あ

る行動を求められ、また期待されることとなります。

気負いすぎる必要はないかと思いますが、これからも自分の言動に自覚と責任を持ち、まっすぐでいてください。そして、心の優しさと芯の強さを忘れず、皆さん自身の手で、それぞれの花を咲かせてください。皆さんが自身の手で、あたたかく素敵な人生を切り開いていけることを願っております。



防災講座

支援員 浅田 恵理子

3月2日、横浜駅から徒歩10分ほどの場所にある横浜市民防災センターで防災講座を実施しました。

- ① 災害シアター
- ② 地震シミュレーター
- ③ 減災トレーニング
- ④ 火災シミュレーター のコースでトータル4種類受講。

災害シアターではいつ起きるかわからない地震や火事、自治体の助けがあるはずとあてにせず、3日分の飲食の用意の大切さ、自分のことは自分で守る「自助」、近所さんとお互いに助け合う「共助」を学ぶ。

地震シミュレーターでは、震度7の設定で戸建ての場合と高層ビルの場合と前半後半に分かれて体験。

減災トレーニングでは地震が発生し、家具の転倒や窓ガラスが割れ火災が起きた場合↓消火活動、土砂が家の中に入ってきてしまった場合↓ヘルメットや必要なものを持参し安全な出入口からの避難の2本で前半後半に分かれて体験。

火災シミュレーターでは基本的な消火器の使い方や、①黄色の安全ピンを抜く②ホースを外してノズルを火元に向ける③レバーをにぎり噴射する。この3つをモニターの火元に向かって消火。火が天井まで行ってしまった場合は消せないで直ちに避難する、煙の立ち込める部屋では、避難をする場合は低い姿勢で壁伝いに手の甲側でたたきながら出口へ進むことと教わりました。

各々真剣に取り組み、後日アンケート記入を行いました。しっかり頭に入っているようでした。



自治会 総括

支援員 入江 就仁

今年度、自治会では「自主性・積極性」を主とし、利用者が生活しやすい空間作り・環境設定を整えるため、参加者自ら発言、意見交換する場として活動を行いました。

上半期は主に通勤寮内ルールの再確認、共有スペースの点検、食中毒など衛生面の管理及び周知活動などを実施。特に夏場にかけて、食中毒が懸念されるため手洗いをこまめに行うよう呼び掛けました。

下半期は通常的に取り組んでいる共有スペース掃除時間帯の見直し・検討、インフルエンザについての広報活動、各講座の感想・課題の洗い出しなどを実施し、検討した内容は利用者集会で全体周知を行いました。

会長を主とし、役員他、傍聴者も含めて様々な意見交換ができ、通勤寮全体として良い効果が表れています。それを全体周知することで個々の利用者が意識し、一つひとつの行動を見つめ直すことができるので、今年度は特にそれが成果だったと言えます。来年度も利用者の自主性を尊重しつつ、個々が快適に生活できる環境作りをサポートできるように支援していきたいと思っております。

自治会会長…渡辺翔太さん

副会長…小野孝廣さん

書記…前田蒼野さん・清水のこさん

1年間の役員担当、お疲れ様でした。

多摩南部就業支援連絡会に出席して

支援員 小林 美樹

この会は「ネットワークは、それ自体で社会資源になり得るを理念とし、多摩南部地域の障害者の就業促進を図ることを目的」としています。構成員は職業カウンセラー・ハローワーク職員・町田市役所障がい福祉課職員・支援学校進路担当教諭・障がい者雇用している企業の方など40名程の方たちがいらっしやいます。

活動は年間4回です。今年度は埼玉の「国立障害者リハビリテーションセンター」を見学させていただき、「高次脳機能障害者への復職に向けて」「精神障害のある方への定着支援」の講話を聞きました。そしてグループ討議では「定着支援」をテーマに何回か行いました。

ここでは様々な業種の方が参加されていて毎回勉強させてもらっています。各方面の支援者が情報交換し知識を得て支援する事で、多くの方の就労継続が出来るように、そして生活が安定する事を願っております。そして、ここで学んだ事を利用者の方々へ還元できるようにしていきたいと考えております。

調理実習

栄養士・調理員 遠藤 小百合

2月16日(土)に今年度最後の調理実習を行いました。

今回は「身近な調理器具で簡単に作る おしゃれな料理」と題して、魚介と冬野菜のアヒージョ・焼きポテトコロッケ・コーンスープ・チョコスコーンの4品を手がけました。

アヒージョはスペインの煮込み料理です。難しいイメージがありますが、少しだけコンロで火を入れたら後はオーブントースターに入れておけば出来上がる、というお手軽さ。パスタをゆでて、具材と一緒に和えれば見栄えのする料理に仕上がります。

焼きポテトコロッケは下ごしらえをレンジで、そしてこちらもトースターで焼き上げます。コーンフレークを衣に使うので、変わった触感が楽しめます。

コーンスープはひと鍋でさっと出来まし、チョコスコーンは生地をまとめてフライパンで焼くだけ。一年の総まとめ、と気合いを入れていた利用者さんでしたが、思いのほか手間がかからずに出来上がり少し拍子抜けした表情も見えましたが、色鮮やかに飾られた食卓に、感嘆の声があがっていました。

いままで作ったことのない料理の味を、ひとつひとつ確かめながら味わえたようです。

調理実習は自炊の時に役立つような技術や知識を学べるように、献立を計画しています。来年度も二ヶ月に一度、食堂で実施していく予定です。今年度参加して下さったみなさま、ありがとうございました。来年度もたくさんのご参加をお待ちしております。



今後の主な予定

4月7日(日) オリエンテーション・バーベキュー

4月26日(金) 生活講座(町田市3R推進課 コシの出し方等)

5月12日(日) 保護者会

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。

(<http://tsunugaku.sakura.ne.jp/wp01/jigyosho/sukinryo/ryodayori/>)